

## インターンシップ活動を終えて

熊本県立大学 文学部 1年 江口望乃佳

二か月間お世話になりました。令和4年4月1日から18歳成人となり、私も大人になりましたがずっと不安を抱いていました。私にはなりたい職業像は決まっていなくてもなりたい大人像というのは決まっておらず、急に成人と言われておいて行かれたように感じていたからです。しかし、インターンシップ活動を通して岩田議員を筆頭に熱意を持ち、様々な活動をする大人に出会い、私も熱意をもって物事に取り組める大人になりたいと思いました。まだ、不安が払拭されたわけではありませんが一つの柱を持つことができたのは大きな一歩だと思います。

私が二か月間のインターンシップ活動の中で印象に残った活動は2つあります。

1つ目は川辺川ダムシンポジウムへの参加です。ダムのメリット、デメリットについて学ぶとともに住民の皆さんの自然に対する熱い思いと誇りを感じました。私自身、地元で自然や伝統文化が消えていくのを目の当たりにしているため住民の方の思いにはとても共感しました。住民の意見はダム建設撤廃ですが議会では当たり前のようにダム建設の方向で進んでおり、歯がゆさと同時に住民の声はこんなにも届いていないのだと驚愕しました。

2つ目は議会傍聴です。議会傍聴は今回が初めてでした。インターンシップに参加する以前の私は政治家や議員が具体的に何をしているのか知らず、それによってなんとなく不信感を抱いていましたが議会での質疑応答を見ると地域について考え、策を講じようと努力していることに気づきました。議会で熊本県の問題と改善策を聞きながら地元の問題との共通点、相違点を考えました。地元の課題について改めて考える良い機会になりました。

私は熊本出身でなく、大学に入ってから熊本に住み始めたため熊本の歴史や自然にあまり詳しくありませんでした。しかし、岩田議員と様々な地域に見学に行き、お話を聞いたことで熊本について知ることができたと思います。至らない点も多くあったと思いますが活動がうまくいくよう細やかに気遣ってくださりありがとうございました。